



ぷらっとシネマ 晴れない霧  
ドキュメンタリー映画『フォッグ・オブ・ウォー』

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-06-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 萩原, 弘子 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10466/15453">http://hdl.handle.net/10466/15453</a>

## 晴れない霧——ドキュメンタリー映画『フォッグ・オブ・ウォー』 萩原弘子

マイケル・ムーア監督のドキュメンタリー映画『華氏 911』が話題だが、それ以上にアメリカでは大統領選に向けて反共和党の風を吹かせていると言われるのが、エロル・モリス監督の本作品だ。1960年代初め、フォードの社長を辞してホワイト・ハウス入りし、ケネディ、ジョンソン兩大統領のもとで国防長官を務めたロバート・マクナマラが、85歳のいま、戦争の20世紀をふりかえって語る。「世界で最も憎まれる男」と言われてきたマクナマラを、モリス監督は新しいイメージで描こうとしている。反戦を唱えることはしない。戦争をなくせるとする理想主義とも自分は無縁だと言う。しかし現実主義者マクナマラは、おのが一党一派の利益よりも公正な批判的理性を備えた人物であるという印象を多くの人が抱くものと思う。

たとえば、キューバ危機についてのコメントだ。

1962年、ソ連の核ミサイルがキューバに配備され、米ソ戦争かという一触即発の事態になった。戦争にならずにすんだのは、フルシチョフ、カストロ、ケネディの3人がいずれも理性をもっていたからだと言ふ。またヴェトナム戦争をふりかえって、「殺生という行為について、人類はもっと真剣に考えるべきだ」と言う。これは現在、戦争マシーンとなって「殺生」を重ねるブッシュ政権に対する批判として、大統領選での効果を期待される箇所である。マクナマラは、敵をも評価し、過去のあやまちを率直に認めるアメリカの理性と見える。

しかし、待てよと思う。ケネディがしたキューバ不侵攻の決定を、世界平和への貢献のように言うのはどうか。ソ連がミサイル撤去を決め、またソ連のものをソ連が撤去するのはソ連の自由だとしてその決定をキューバが受け入れたことで、なんとかアメリカの不侵攻を勝取った。ソ連のミサイル撤去宣言は信用できないとして査察を主張したアメリカに対して、カストロはこう言い返した。「そもそもアメリカにキューバ侵攻の権利はない。アメリカは、泥棒はしないから査察させると言っているに等しい」。不侵攻が平和への貢献となるのは、侵攻することを基準としてこそである。現実には、米ソのトップが綱引きをしているあいだも、米軍の偵察機はキュー

バ領空に飛び、CIA破壊チームはキューバに潜入して爆弾テロを展開していた。そのすべてを掌握していたマクナマラが、不侵攻の決定と戦争の回避をアメリカの功績のように言うのは、盗人猛々しい。

この映画で初めて知ったのは、大戦中の日本空襲への彼の関与である。経済人のセンスで経営理論を戦争に応用し、空襲の効率向上をはかったのだ。1944年末から45年初めにかけて行なわれた空襲で、東京、大阪を含む主要都市の機能はほぼ壊滅した。ここでマクナマラは、或る意味で驚くべきコメントをする。空襲によって日本敗戦はすでに決定的になっており、8月の原爆投下はまったく必要なかったと言うのだ。原爆投下の正義に疑いを投じるような催しはいまも開催不可能なのがアメリカだ。マクナマラの発言は、特段に理性的と見える。しかし実は彼は、原爆投下の不正義を言っているのではなく、自分が立案者である無差別絨毯爆撃の効果を主張しているのである。非武装市民に対する爆撃である点では、原爆と変わらない。

ヴェトナム戦争が泥沼化し、大量の非武装市民を殺戮した責任については、ジョンソン大統領にあると彼は言う。北爆拡大のシナリオを書いた当人の言葉としては、あまりに無責任である。1968年、ヴェトナム戦争のさなかに国防長官を辞し、世界銀行総裁となる。貧困は共産主義の温床と考えるマクナマラのもとで、世銀は飛躍的に開発貸付の件数を伸ばした。それが累積債務となって、現在の苛烈な南北経済格差をつくりだすことになる。しかしその時期の彼はこの映画の焦点ではない。

モリス監督の意図はマクナマラ礼賛ではなく、彼の偏りない理性がアメリカ批判にも開かれているのを見せることで、ブッシュの狭隘な排外主義的愛国主義を叩くことにあるだろう。そういう効果は、アメリカ国内ではあがっているかもしれない。しかしこの映画が世界でもつ意義は、民主党政権を支えた財界出身の大物官僚が、自分の手の汚れをぬぐって平然と語る姿をとらえたところにある。

20世紀に降りてきた戦争の霧は、21世紀になっても晴れそうにない。

(アメリカ映画 106分)